

法

107

從
政
意
見

初
見
八
郎

301003-000-9

法-107

從政意見

初見八郎

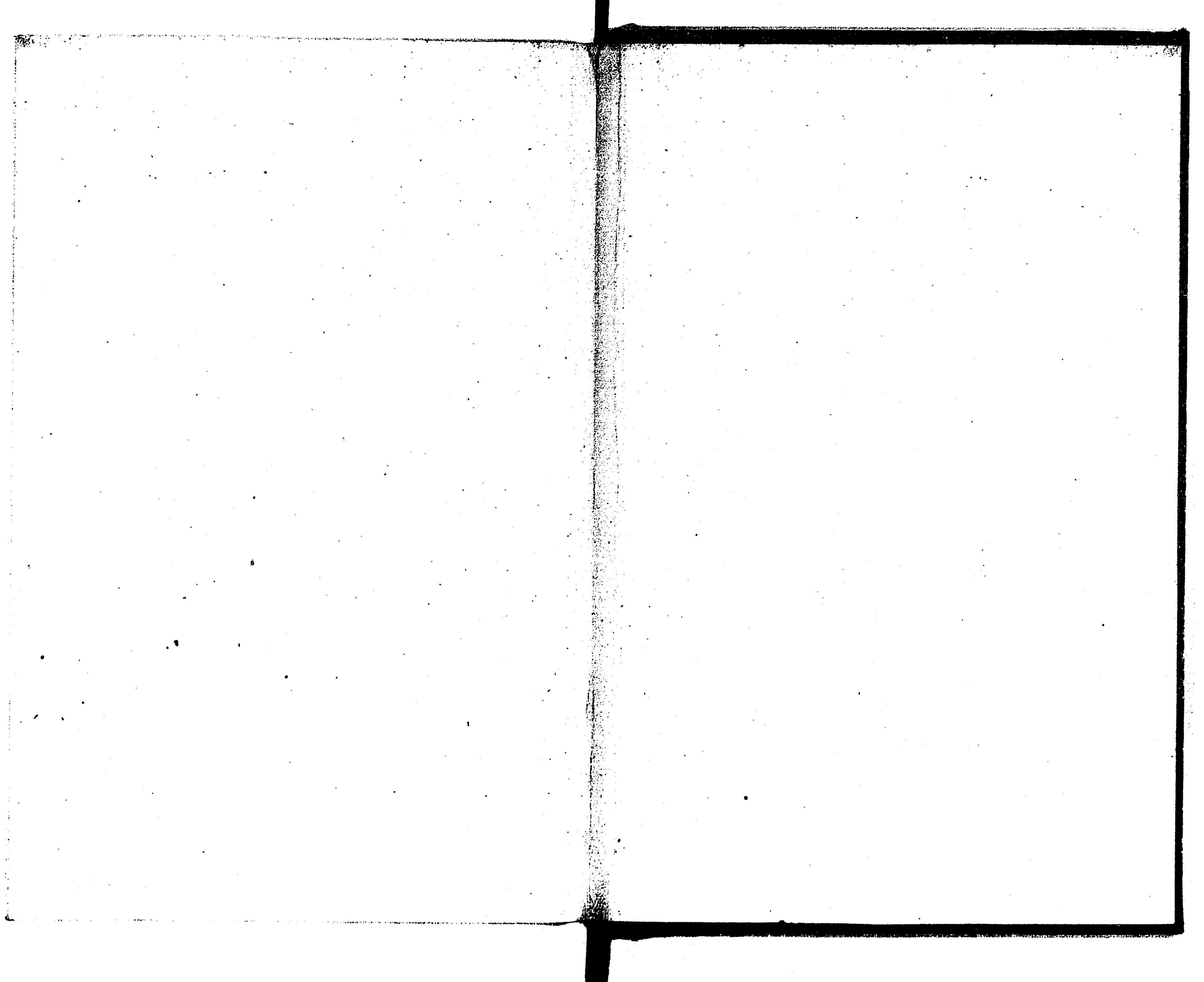
M27.2

BAA-0005

II II III IIII

5

107





不肖 城縣北總公民俱樂部及ヒ第四區有權者諸君
推薦 衆議院議員ノ候補者タルノ榮譽ヲ荷ヘリ因テ
從政意見ノ大要ヲ述ヘ汎ク我五郡ノ有權者諸

明治三十七年第二月

從政ノ意見

初見 八 郎

憲法既ニ定マリテ苛法弊政未タ除去セス代議制既ニ成リテ
輿論常ニ貫徹セス名ハ立憲代議制ノ邦國ニシテ實ハ專制政
體ノ宿弊ヲ免レサルハ我國現時ノ狀況ニ非スヤ吾人ハ苛法
弊政ノ常ニ存シ易スク輿論ノ往々ニシテ枉屈スルヲ知ラサ
ルニ非スト雖トモ我國現時ノ狀況ニ視テ轉々其ノ異例ヲ訝
カリ且ツ慨歎ニ堪ヘサルモノアリ

議會創設以來未だ僅カニ四星霜ヲ經ルニ過キスシテ衆議院
ノ解散セラル、コ既ニ二回ニ及ビタリ加フルニ停會ノ阨ニ
遇フ啻ニ兩三回ノミナラス衆議院ト内閣ノ相容レサル亦タ
甚シト云フヘキナリ抑モ相容レサル此ノ如キハ職トシテ衆
議院ノ輿論ヲ代表セサルニ由ル乎將タ内閣ノ輿論ヲ蔑如ス
ルニ起レル乎解散停會ノ狀況ヲ知ル者ハ誰レカ院議ノ剛健
ヲ贊シテ内閣ノ專濫ヲ憤ラサランヤ時ニ或ハ停會解散ノ當
然ナルヲ説ク者無キニ非スト雖トモ是レ唯タ曲筆阿權者流
ノ私言ノミ亦タ齒牙ニ置クニ足ラザルナリ
議院常ニ輿論ヲ代表シテ數々停會解散ノ阨ニ遇ヘハ輿論ハ
何ニ由リテ貫徹シ代議制ハ何ニ由リテ實効ヲ収ムルヲ得ン
ヤ故ニ是ノ貫徹實効ヲ期セント欲セハ輿論ヲ妨遏スル所以

ノ原由ヲ求メテ之ヲ排斥除去セサルヘカラス是レ固ヨリ論
スルヲ俟タサル所ナリ
憲法發布以來内閣大臣ノ交迭ハ頗ル頻繁ニシテ其ノ方針ハ
屢々變換スル所有リシト雖トモ所謂ル朝三暮四ニシテ輿論
ヲ敬重セサルニ至テハ常ニ一轍ニ出ルカ如シ是レ内閣大臣
タル者カ其人ニ於テ異ナレリト雖トモ其旨趣ニ於テ異ナラ
ズ其旨趣ニ於テ異ナレリト雖トモ其意思ニ於テ異レル所ナ
キニ由レリ何ナカ意思ニ於テ異ナレル所無シト謂フ乎曰ク
藩閥内閣ヲ維持セント欲スル即チ是ナリ曲筆阿權ノ徒ハ動
モスレハ即チ云フ今ノ大臣ハ悉ク薩長出身ニ非サルヲ以テ
今ノ内閣ハ藩閥内閣ニ非ラサルナリト是レ唯タ其外形ニ就
テ之ヲ謂フノミ伴食大臣ノ既ニ其意思ヲ藩閥ニ同化シタル

ヲ問ハサルナリ
抑モ藩閥ヲ維持セントスルノ意思ハ固ヨリ私情ニ屬スルヲ以テ到底國家ノ公益ニ協同セスシテ常ニ輿論ニ背馳セリ請フ試ニ從來彼等カ施爲セシ所ヲ視ヨ彼等ハ百方畫策シテ院議ノ排撃ヲ免レント欲スト雖トモ未ダ曾テ輿論ヲ敬重シテ之ニ從フヲ能ハス却テ策ノ窮スルニ及ンテハ停會若クハ解散ヲ以テ僅カニ一時ノ苟安ヲ貪レリ是レ衆議院ノ輿論ヲ貫徹スル能ハサル所以ナリ

藩閥内閣カ輿論ト相ヒ容レサル實ニ此ノ如シ故ニ立憲代議制ノ實効ヲ收メント欲セハ必スヤ藩閥内閣ヲ打破セサル可カラス之ヲ行フハ現時最緊至要ノ問題ニシテ之ニ由ルニ非サレハ立憲代議制ハ到底其完成ヲ期スル能ハス然レトモ立

憲代議制ハ固ヨリ暴力威嚇ヲ須ユルヲ容ササルナリ乃チ藩閥内閣ヲ打破セント欲セハ之ヲシテ自カヲ存立スルヲ得サラシムルノ外亦タ更ニ手段アルトナキナリ然ラハ則チ其ノ方法ハ如何ン曰ク苛法弊政ヲ除去スル即チ是ナリ
輿論ノ枉屈ハ實ニ藩閥内閣ノ存立ヨリ甚シキハ莫シ故ニ苛法弊政改革ノ事業ハ藩閥内閣ノ下ニ在リテ到底行ハル可ラサルノ觀ナキニ非ス然レトモ從來ノ事實ニ徴シテ之ヲ視ルニ内閣カ藩閥維持ノ意思ハ未ダ曾テ變セスト雖トモ正義ノ向フ所ハ常ニ退讓スル所無キヲ能ハス而シテ輿論ハ常ニ其歩ヲ進メテ漸ク苛法弊政ヲ驅逐セントセリ其レ然リ苛法弊政ノ改革ハ藩閥内閣ノ下ニ在ルモ尙ホ且ツ徐クニ之ヲ行フヲ得ヘキナリ願フニ藩閥内閣ハ好レテ苛法弊政ヲ施爲スル

ニ非スト雖トモ強テ之ヲ維持セント欲スルノ意思ハ發シテ苛法弊政トナレリ而テ苛法弊政ノ存スルハ藩閥内閣ノ生存スル所以ナリ故ニ盡ク之ヲ除去セハ彼等ノ命脈ハ一縷ヲモ保持スル能ハサルニ至ラントス之ヲ要スルニ苛法弊政ヲ改革シテ藩閥内閣ヲ打破シ輿論ノ圓滑ナル貫徹ニ由リテ立憲代議制ノ完成ヲ圖ルハ吾人カ執リテ以テ從政ノ方針ト爲ス所ナリ吾人カ從政ノ方針タル既ニ此ノ如シ故ニ方今ノ問題ニ就イテ之ヲ言ヘハ現條約ハ其厲行ヲ期シ官紀ハ其振肅ヲ希ヒ言論集會結社ヲ自由ハ大ニ之ヲ伸張セサルヘカラス又行政機關ノ運轉ニ關スル經費ノ如キハ從來ニ比シテ痛ク之ヲ節減スルヲ要スルナリ

若シ失レ地租、鐵道、治水ノ問題ニ至リテハ事ノ利害ト時ノ緩急ヲ計リテ能ク其衷ヲ裁シ其宜シキヲ制セサル可ラス但タ其詳細ニ至リテハ會晤ノ日ヲ期シテ亦タ將サニ敢テ清聽ヲ煩ハス所アラントス

8/35

明治廿七年二月三日印刷
同 年同月七日發行

編述兼發行人

初見八郎

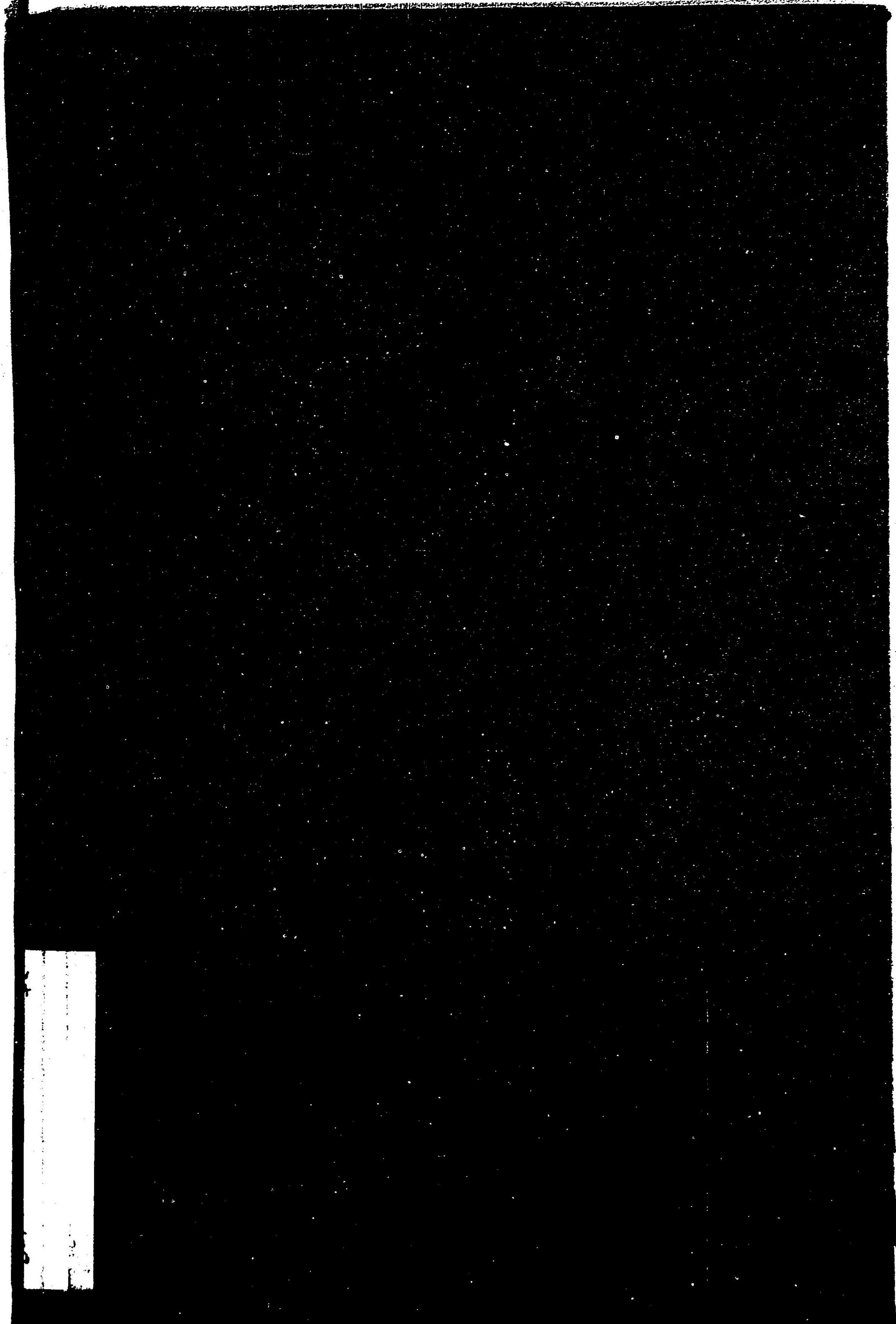
茨城縣猿島郡
八股村大字東山田

印刷者

小林柳次

日本橋區藥研堀町
三十三番地厚信舎

法
107



Vertical text on the left edge of the black area, possibly a page number or margin note.